

## 平成27年度第3回愛媛県宇和島圏域地域医療ビジョン調整会議の開催結果

- 1 会議の名称 平成27年度第3回愛媛県宇和島圏域地域医療ビジョン調整会議
- 2 開催日時 平成28年1月14日（木曜日）午後6時30分から午後7時45分まで
- 3 開催場所 南予地方局 7階 第2会議室
- 4 出席者 委員17名（うち3名代理出席）、オブザーバー3名、随行者4名、事務局9名、傍聴者3名
- 5 議題 (1) 宇和島圏域地域医療ビジョン素案について  
(2) その他

### 6 内容（全部公開）

#### 議題（1）及び（2）

- ① 12月23日に開催された松山圏域との区域間調整協議に至った経緯及び結果等について報告した。
- ② 宇和島圏域における将来あるべき医療提供体制を実現するための施策（案）について、目的、現状、課題及び施策の方向を資料により説明するとともに、意見交換した。

なお、今後、修正等がある場合は、議長に一任することです承された。

#### 主な意見等

##### (1) 自治医科大学卒業医師の配置について

- ① 町として、毎年、医師の配置をお願いしているが、医療対策課からは、現在、南予への配置が多いが、対人口比でも医師数が多いことから来年の配置がどうなるかは分からないと言われている。  
医師が配置されない場合は、町民への影響は大きい。
- ② 義務年限が終了すると地域にいなくなってしまうので、何とか地域に定住してもらうように医師のキャリアアップ等も考えるべきではないか。

##### (2) 市立宇和島病院の救急医療について

- ① 救急搬送等は、できるだけ受入れているが、勤務医等医療従事者の負担は大きく、特に常勤医が90名をピークに現在は77名に減少しており、限界に近づいている。
- ② 住民に対する診療時間内の受診、特に夜間における症状に応じた受診方法を理解してもらうことが、負担軽減には大切である。
- ③ 宮崎県の県立病院でも、現在の市立宇和島病院のような状態が続き、医師が年に10人退職していくような事態となった。  
行政も含めて、住民への適切な受診方法の理解促進に努めた結果、医師数は年々増えてきているが、4～5年はかかっている。
- ④ 働き盛りの30～40歳代の医師は、子供の教育環境等も含め、県内では松山市に勤務する傾向がある。

宇和島保健所  
企画課 医療対策係  
TEL：0895-28-6105  
FAX：0895-24-6806